

## 2. 生徒質問紙に関する調査の傾向

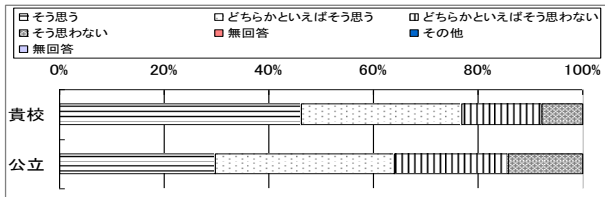
学校生活、基本的な生活習慣、学習習慣について顕著なものをあげて本校の検証をします。

※ 貴校→本校 公立→大阪府

### ★ 学校生活・授業規律 (概要)

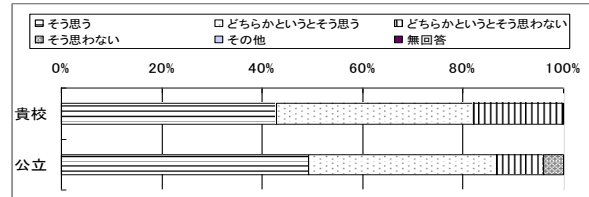
本校の授業開始テスト等の実施により、チャイム着席はできている。しかしながら、授業中の私語や学校のきまりを守るなど、授業に集中させるための工夫改善、学校規律・授業規律の確立をさらに図る必要がある。また、英・数で実施している少人数指導（習熟度別学習）は、昨年と同様、子どもたちの学習理解に効果があるという結果である。「自主・自律・責任」のもと、クラス内では話し合ってきたりなど、自治能力の育成のために学級活動等が活発に行われていることが伺える。読書が好きな生徒の割合が多く、本校の「朝読」の取組の成果が見られる。

#### ①授業中に勉強以外のことでおしゃべりすることがある。



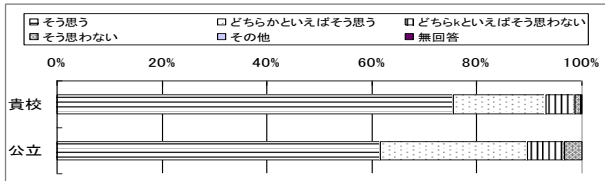
77.0% (大阪府平均63.7%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

#### ②学校の決まりを守っている。



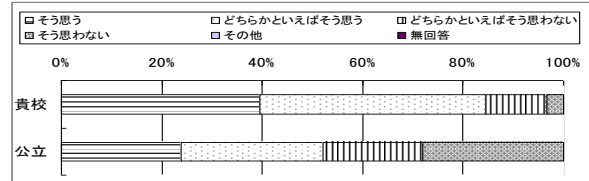
82.5% (大阪府平均86.3%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

#### ③チャイムが鳴ったら席につくようにしている。



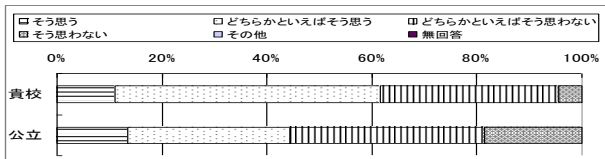
93.4% (大阪府平均89.2%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

#### ④勉強のわからないところを、ゆっくりていねいに学習するコースや、早く進むコースなどに分かれて行う授業はよくわかる。



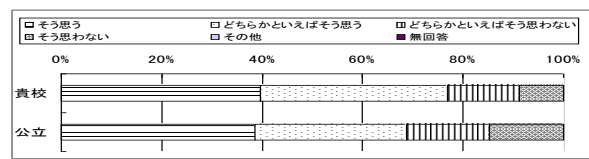
84.7% (大阪府平均51.1%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

#### ⑤普通の授業では、みんなで話し合う活動をよく行っている



61.5% (大阪府平均44.1%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

#### ⑥読書が好きですか

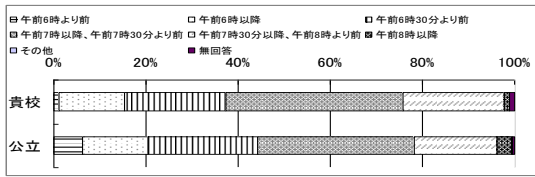


77.0% (大阪府平均68.5%)が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。

### ★ 生活習慣・学習環境 (概要)

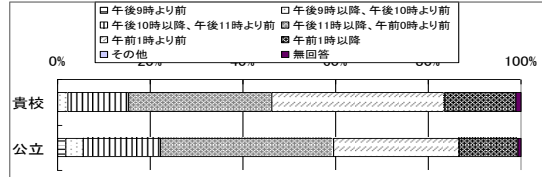
朝食を食べずに登校する割合が高く、起床時刻、就寝時刻は遅い傾向がある。学校の宿題はするが予習・復習をする割合が低い。また、家庭での「1日あたりの学習時間」「休日の学習時間」は、2時間以上学習している生徒の割合が平均値を上回っているが、1時間以内の生徒の割合も多く、家庭学習時間の二極化の傾向が見られる。今後、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、「自学自習力」を身につけさせるために家庭との連携をより密にする必要がある。また、「将来の夢や目標を持っている」「人に役に立つ人間になりたい」の割合が低く、道徳・特活・総合の授業を活用してキャリア教育を充実させていくとともに、さらに、きめ細かい進路指導をすすめる必要がある。

① 普段（月～金）、何時頃に起きますか。



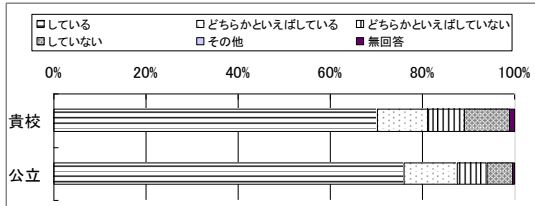
**大阪府に比べて、朝起きる時間が遅い傾向がある。**

② 普段（月～金）、何時頃に寝ますか。



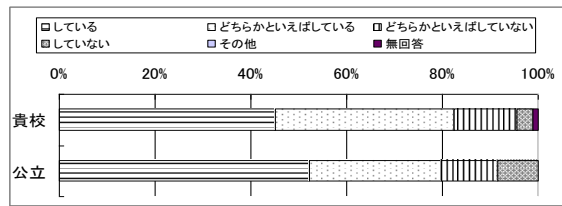
**大阪府に比べて、夜寝る時間が遅い傾向がある。**

③ 朝食を毎日食べていますか。



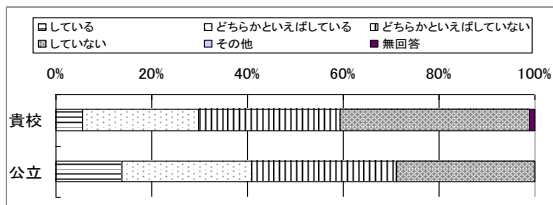
**81. 3%(大阪府平均87. 5%)が、「している」「どちらかといえばしている」と回答している。**

④ 「学校の宿題はしている。」



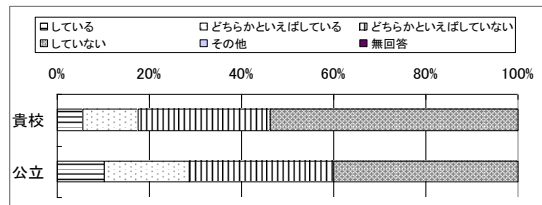
**82. 5%(大阪府平均79. 3%)が、「している」「どちらかといえばしている」と回答している。**

⑤ 学校の授業の復習はしている。



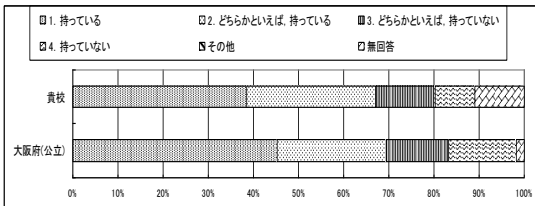
**29. 7%(大阪府平均40. 6%)が、「している」「どちらかといえばしている」と回答している。**

⑥ 学校の授業の予習はしている。



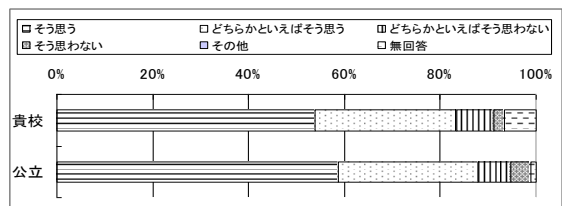
**17. 6%(大阪府平均28. 6%)が、「している」「どちらかといえばしている」と回答している。**

⑦ あなたは、将来の夢や目標を持っていますか。



**67. 1%(大阪府平均69. 4%)が、「持っている」「どちらかといえば持っている」と回答している。**

⑧ 人の役に立つ人間になりたいと思う。



**83. 5%(大阪府平均87. 9%)が、「なりたい」「どちらかといえばなりたい」と回答している。**

### 3. 今後の取り組み

「学力・学習状況調査」の結果から、生活習慣と学力には密接な関わりがあることがわかりました。学力の向上は、学校が主にその役割を担いますが、ご家庭との連携も大切だと考えます。本校では、今回の調査の結果をふまえ、今後も指導力向上のための授業研修をさらに充実させ、指導方法の工夫改善に取り組み、「わかる授業」めざしています。家庭での「自学自習力」同時に「自分の考えを書く力、話す力」を身につけさせる授業づくりを行い、学習意欲の向上にも努めてまいります。各家庭におかれましては、「規則正しい生活習慣」特に朝ご飯の摂取・起床就寝時間や準備物などのチェック、お配りしている「家庭学習の手引き」の活用など、家庭学習の習慣が定着するようにご協力いただくとともに、「将来のことや自分の進路」等について話し合い、子どもたちを支え、励ましていただきますようお願い致します。